

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年 3月 31日
2次評価日（課長等）	30年 3月 31日

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	保育園管理事業	コード	51201
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 子ども課	作成者 斉藤 智也
--------	----------	---------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	子育て支援	施策	子育て支援の充実
		予算科目	保育所管理運営費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	児童福祉法第10条、第24条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 (簡潔に)	保育が必要な児童およびその保護者のために、保育園における児童の保育を通して、生命の保持と情緒の安定や心身の発達を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立支援を図る。			
目的	対象者	児童及び保護者		
	意図	児童の心身の発達を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立支援を図る。		

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて、保育を必要とする児童を保育園で保育を行った。 私立保育園や市外保育園へ入所を希望する児童について、各保育園へ保育を委託した。 私立保育園の特別保育や子育て支援サービス等に対して、補助金を交付した。 公立保育園の施設や設備の維持管理や必要な修繕、備品の整備を行った。 児童の健康診断や保健だよりの発行、健康相談を実施した。 保育の質向上のため、保育園職員研修を行った。 特別保育として未満児保育、長時間保育、一時保育、休日保育を実施した。 3歳以上児、3歳未満児ごとに質、量を考慮しながら献立を作成し、提供した。 食物アレルギーのある児童に対しては、除去食等を実施した。 世界にタッチ英語に触れよう事業や、ぼくもわたしもおかやっ子事業などの施策を展開した。 				
前年度の課題への対応	国の保育料軽減の拡大に伴い、前年に引き続き保育料の見直しを行い、保護者負担の軽減を行った。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	管理保育園数			単位	園
実績値	14	14	14		
*指標の説明	市立公立管理保育園数				
② 成果指標（指標名）	保育日数			単位	日
目標値	294	293	293	292	
実績値	294	293	293		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
*指標の説明	年間保育日数				
*目標値の設定方法の説明	休日、祝日を除く日数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	589,468,126	613,594,468	634,085,127	700,204,000
経常経費	589,468,126	613,594,468	634,085,127	700,204,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	682,400,000	674,400,000	674,400,000	626,400,000
正規職員の人数(人)	85.30	84.30	84.30	78.30
③ 合計コスト(①+②)	1,271,868,126	1,287,994,468	1,308,485,127	1,326,604,000
前年度比		101.3%	101.6%	101.4%
財源				
一般財源	871,760,833	878,441,111	908,677,207	894,606,600
内訳				
特定財源	400,107,293	409,553,357	399,807,920	431,997,400
* 特定財源の説明	保育所費負担金、保育所使用料、手数料、国県負担金及び補助金等			
④ 活動一単位あたりコスト	90,847,723	91,999,605	93,463,223	
前年度比		101.3%	101.6%	
⑤ コストに関する補足説明	平成28年度は保育士の配置見直しにより1名の定数減、平成30年度は東堀保育園の運営移管により6名の定数減とした。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
研修会等出席負担金	件数	8	8	7
	金額	140,000	143,000	106,000
無線電波利用負担金	件数	14	14	14
	金額	7,560	7,560	7,560
防火協会負担金	件数	14	14	14
	金額	28,000	28,000	28,000
学校責任者賠償責任 保険等負担金	件数	1	1	1
	金額	125,729	119,699	120,076
県保育連盟負担金	件数	1	1	1
	金額	322,700	325,000	323,900
日本スポーツ振興セ ンター負担金	件数	1	1	1
	金額	375,260	362,820	363,880
ボランティア保険負 担金	件数		18	14
	金額		11,700	4,900
地域型保育給付費負 担金	件数			
	金額			26,379,000
認定子ども園施設型 給付費負担金	件数			
	金額			83,312,000
聖ヨゼフ保育園補助 金	件数	1	1	1
	金額	12,829,706	13,370,622	15,469,407
ひまわり保育園補助 金	件数	1	1	1
	金額	14,480,065	15,087,617	15,835,544
きらり岡谷市民病院 園補助金	件数			1
	金額			566,100
信学会東堀保育園補 助金	件数			
	金額			14,478,000
アの①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	301,289	309,959	266,536
	割合	0.05%	0.05%	0.04%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価		* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性	高い
評価項目				はい	いいえ
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。			1	
②	民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。			1	
③	民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。			1	
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。			1	
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。			1	

9 有効性評価		* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。		有効性	高い
評価項目				はい	いいえ
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			1	
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。			1	
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			1	
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	100.0%	1
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>少子化の影響により、入所児童数が減少傾向にある中で、子育て世代の就労環境の変化等により、未満児の入所は増加傾向にあり、保護者のニーズが多様化している。 施設が老朽化している園もあり、保育園の管理運営の効率化が求められている。</p>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>平成24年度に策定した「保育園整備計画」に基づき保育園整備に取り組み、早期に保育環境の整備と、保育サービス・機能の充実が図られるよう努める。</p>
改善開始時期	平成30年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---